



# 湖山地区同推連絡協議会で 学校、地域の意見交換を

## 「ガイジ」発言は厳しく指導

第2回湖山地区同和教育推進連絡協議会が1月22日、湖山地区公民館において開催された。この会は本年度初めて計画されたもので、湖山地区の同和教育に携わる各組織、各学校の方々が集まり、それぞれの取り組み方や課題等を話し合った。

各学校・各組織の取り組み内容については、活発に行われた。司会、湖山地区同推協会長、飯田寛司、記録/同地区同推推進員(谷尾洋介)



ビデオ視聴を計画しています。同推だよりについては絵本の読み聞かせの重要性や親子の会話についても取り上げました。岡長先生からも「働く」ことの大切さなどを取り上げました。

湖山保育所同推部長 参観日の日に合わせた研修会は参加率がいいのですが、夜の研修会は非常に少なかったですね。本年度は「参加者が少なくても部落問題についてやってみよう」と計画しましたが、やはり少なかつたですね。だけでは、参加した保護者は、関心度が高かったです。広報紙については研修会の感想や意見をもとめ、部員同士でテーマを絞って「自閉症との関わり」をテーマに「ハンセン氏病の人権問題」が、本年度は50%切れていたように思います。

現在はずっと一緒に学べる視覚ライブラリーの湖山小同推部長 夜の学習会を年に2回開催していますが、

- 出席者：
- ひかり幼稚園主任＝岩佐 洋子
  - 湖山保育所園長＝坂口喜美子
  - 同園同推部長＝村中 哲也
  - 湖山小学校教頭＝池口 睦生
  - 同校同推部長＝田中亚希子
  - 湖東中学校人権教育主任＝佐々木雅人
  - 同校同推部長＝船越喜久雄
  - 湖山地区同推推進員＝谷尾 洋介
  - 〃 影井 幸実
  - 〃 三橋 和枝
  - 〃 塩坂 孝恵
  - 湖山地区同推協会長＝飯田 寛司
  - 同地区公民館＝山根たか子
  - 〃 奥田 龍子
  - 〃 瀧川 和子
  - 司会：飯田寛司 記録：谷尾洋介

は依然と少ないのが現状。そんな現状を踏まえての意見交換会であったがキーワードは、学校教育と地域の連携にあった。湖山地区同和教育推進協議会、今回の意見交換会から出された課題や改善案、あるいは「これから推進していく点」をまとめて取材した。(司会)湖山地区同推協会長、飯田寛司、記録/同地区同推推進員(谷尾洋介)

出席率は悪いですね。約230名程度です。参観日の後は結構多いんですが、研修内容や開催日時にも課題があるのではと思います。

広報紙は部員13名を3つのグループに分けて年3回発行しています。意識を高めるためにカラーにしたり全家庭に配布しています。

湖東中同推部長 中学校は公開学習などの出席率はとてもいいですね。関心度が高いと思います。広報紙は年に3回発行しています。2回の編集会議をして、3回目発行の段取りをしています。内容としては、3年の沖繩人権平和研修や2年の奈良大阪人権泊研修、1年の船上山宿泊研修の感想文や保護者の意見などを掲載しました。2学期は校外学習の取り組みを掲載しました。

学校内や園内の障害児との関わり合いについては、どのように行われているのでしょうか。また、小中学校内での問題事象があればお話しいただけませんか。

湖山小学校 基本的には障害児の所属学年と同じ学年での交流学習を食っています。中学校でも「ガイジ発言」がありました。人権を無視して罵倒する「ガイジ」発言はなす、親もそれに伴い高くなります。

湖山地区同推推進員 湖山地区には3世代家庭は少なくありません。孫のレベルは高く稚園や保育園にも連絡致しませんね。

湖山小学校 これからは、幼稚園や保育園にも連絡致しませんね。

## 小地域研修会をもっと多く

### 好評だった小学校公開学習



厳しく指導しています。発言なりつつある現状を垣間見た生徒の保護者とも互いに理解を深めるため意見交換もしました。

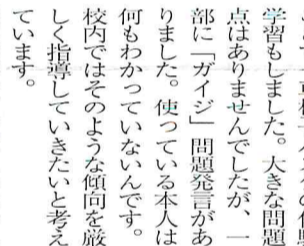
会長 地域の取り組みとして、小地域研修会がその大きな役割を果たすべきなんです。この湖山地区は町内によって取り組み方に格差があります。改善するため、新区長会において平成17年から平成19年までの小地域研修会の年次計画を提出しました。今後はもっと地区内に同和教育が浸透していくよう推進していきたいと思っています。

湖山地区同推推進員 ワードと話ししていましたが、まさに今の言葉は重要な要素を含んでいますね。



湖山地区同推推進員 湖山地区の同推協から湖山小学校の公開学習はよかったですね。久しぶり小学校の授業を見させてもらってよかったと思います。私も勉強していきたいと思っています。

湖山地区同推推進員 私は湖山小学校の公開学習に行つてよかったです。久しぶり小学校へ行きました。各学年で人権同和教育の視点についてびびりました。自分がPTAで活動していた時はいい加減なところがありました。今は違いますね。すごく勉強させていただきました。



湖山小学校 教育委員会が掲げたものに沿って目標をたてているものや学校独自のものもあります。

湖山地区同推推進員 湖山地区には3世代家庭は少なくありません。孫のレベルは高く稚園や保育園にも連絡致しませんね。

湖山小学校 これからは、幼稚園や保育園にも連絡致しませんね。



湖山地区同推推進員 湖山地区には3世代家庭は少なくありません。孫のレベルは高く稚園や保育園にも連絡致しませんね。

湖山小学校 これからは、幼稚園や保育園にも連絡致しませんね。

## 小地域研修会感想報告

(平成16年4月～17年3月)

- 駅前3区町内会 (H17・1・10)
- 差別とはどういうことなのかの認識が不足しているのではないかと。
  - ややもすると避けて通る心理が働くことがあるので、身近の学習機会を捉えて、学習、啓発していく必要があると思う。
  - 相手の立場に立った思いやりの心が必要である。発信する側と受ける側とで表現のしかたひとつで逆の捉え方をしてしまう危険性がある。言葉は大切。

- 浜区町内会 (H17・1・22)
- ビデオ教材の「寝た子を起こすな…」論を聞いて、今時これは何だと思った。多くの人がやはり「寝た子を起こさないといけない」の感想が聞かれた。
  - 結婚の話になると他人事にする。周囲の目を気にすることは現実にある。
  - 研修は繰り返しやらないといけない。
  - 相談されたときにはっきりと助言できる力をつける勉強をしておきたい。

- 井津水区町内会 (H17・1・23)
- 初めての研修会であったが、出席率は大変よかった。
  - 「寝た子を起こすな…」の考え方」のビデオ教材は指導助言者の指導とあいまって良かったのではないかと。
  - ある会員から「この研修会は毎年開催しては」との前向きな意見があった。
  - 人権という視点で、様々な角度から取り組み、本音の意見が飛び交う町区になればよいと思っている。

- 婦人会総会 (H17・3・9)
- 自分自身が変わるように努力しなければならない。
  - 自分らしさを見つけることの大切さや「女らしさ、男らしさから自分らしさ」について考えさせられた。
  - 家庭の中の女性としての立場を自分自身が見つめ直すことが大切であると思った。
  - もっと時間をかけて研修を深めたい。
  - ふだんあまり聞いたことのない言葉が出て来て、すぐには理解できない内容もあった。